さ と い も 防 除 指 針

JA 周桑園芸生産指導課

○種子消毒

防除時期	対象病害虫	農薬名	系統	散布農度 使用量	収穫前日数 使用回数	使用方法及び 注意事項
植付前	疫病 黒斑病	ベンレートT水和剤 20	有機硫黄 EBI	・20 倍 ・種いも重量の 0.4～0.5%	植付前/1 回	・植付前 20 倍で 1 分間浸漬 ・種芋重量の 0.4～0.5%種芋粉衣 （紛衣は黒点病のみ登録）

○病害虫防除体系

防除時期	対象病害虫	農薬名	系統	散布農度 使用量	収穫前日数/ 使用回数	使用上の注意点
植付前	コガネムシ類幼虫	ラグビーMC粒剤	有機リン	20kg/10a	植付前/1 回	散布後ただちに耕起
	ネグサレセンチュウ			20～30 kg／10a		
	コガネムシ類幼虫	ダイアジノンSLゾル	有機リン	50 倍 100L/10a	植付前/1 回	散布後ただちに耕起
3 月上旬	アブラムシ類	アクタラ粒剤5	ネオニコチノイド	6kg/10a	植付前/1 回	作条混和
		又は				
		アドマイヤー1粒剤	ネオニコチノイド	4kg/10a	植付時/1 回	植溝土壌混和
5 月下～6 月上旬	ハダニ	マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート	1,000 倍	3 日/1 回	
6 月中～下旬	疫病	ペンコゼブ水和剤	ジチオカーバメート	500 倍	7 日前/2 回	**発病前の予防散布**
		又は				
		ジーファイン水和剤	銅	1,000 倍	前日/－	
6 月下～7 月中旬	疫病	ダイナモ顆粒水和剤	スルホンアミド シアノアセトアミド	2,000 倍	21 日前/3 回	**（初発後直ちに）**
	ハダニ	サンマイトフロアブル	METI	1,000 倍	21 日/2 回	発生時に混用
7 月下旬	疫病	アミスター20フロアブル	ストロビルリン	2,000 倍	14 日/3 回	※降雨が続く場合は『ダイナモ顆粒水和剤』を使用する。ただし、少発条件および【6 月下～7 月中旬】の防除時に、『ダイナモ顆粒水和剤』を使用した場合は連用を避け、『アミスター20 フロアブル』を使用する。
		又は				
		ダイナモ顆粒水和剤	スルホンアミド シアノアセトアミド	2,000 倍	21 日前/3 回	
	ハダニ	コロマイト乳剤	マクロライド	1,000 倍	前日/2 回	発生時に混用
8 月上～中旬	疫病	ジーファイン水和剤	銅	1,000 倍	前日/－	※基本的にジーファイン水和剤を使用する。 多発条件の場合は『アミスター20 フロアブル』を使用するが【7 月下旬】の防除時にアミスター20 フロアブルを使用した場合は連用を避ける。
		又は				
		アミスター20フロアブル	ストロビルリン	2,000 倍	14 日/3 回	
	ハスモンヨトウ	グレーシア乳剤	イソオキサゾリン	2,000 倍	7 日/2 回	発生時に混用 ※ジーファインとの混用不可
8 月中旬	疫病	ジーファイン水和剤	銅	1,000 倍	前日/－	（少発生時）
		又は				
		ダイナモ顆粒水和剤	スルホンアミド シアノアセトアミド	2,000 倍	21 日前/3 回	**（台風等の強風の後）**
	ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル5	ジアミド	2,000 倍	前日/3 回	発生時に混用
8 月下旬	疫病	カンパネラ水和剤	バリンアミドカーバメート ジチオカーバメート	500 倍	7 日前/2 回	（多発時および台風等の強風後） **※カンパネラ水和剤はマンゼブ剤の使用回数に注意**
		又は				
		アミスター20フロアブル	ストロビルリン	2,000 倍	14 日/3 回	
	ハスモンヨトウ	マトリックフロアブル	IGR	2,000 倍	7 日/3 回	発生時に混用
9 月上～中旬	疫病	ジーファイン水和剤	銅	1,000 倍	前日/－	（少発生時）
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	ジアミド	2,000～4,000 倍	前日/2 回	発生時に混用

☆ 台風前にはジーファイン水和剤、**台風後・長雨時にはアミスター20 フロアブル、ダイナモ顆粒水和剤（『使用回数：3 回以内』を順守する）、カンパネラ水和剤（『マンゼブを含む農薬使用回数：2 回以内』を順守する）**を散布する。

☆ **展着剤 まくぴか5,000～10,000 倍**

☆ 薬害軽減のため防除前には十分な灌水を行っておく。

○雑草防除体系

<table>
<tr><th>薬剤名</th><th>使用時期</th><th>毒性</th><th>10a 当たり使用料</th><th>使用回数</th><th>使用上の注意</th></tr>
<tr><td>トレファノサイド乳剤</td><td>植付後（マルチ前）（但し、植付7日後まで）
全面土壌散布</td><td>普</td><td>300～400ml
（100L）</td><td rowspan="2">どちらか
1回</td><td rowspan="5">・処理前に発生している雑草には効果が劣る。
・土壌が適度に湿っている状態で処理をする。</td></tr>
<tr><td>トレファノサイド粒剤2.5</td><td>植付後（マルチ前）（植付7日後まで）
全面土壌散布</td><td>普</td><td>4～6kg</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ゴーゴーサン乳剤</td><td>植付後萌芽前（雑草発生前）
全面土壌散布</td><td rowspan="2">普</td><td>200～400ml
（70～100L）</td><td rowspan="3">1 回</td></tr>
<tr><td>土寄せ後（雑草発生前但し、収穫 60 日前まで）
全面土壌散布</td><td>200～400ml
（100L）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ゴーゴーサン細粒剤F</td><td>植付前（雑草発生前）
全面土壌散布</td><td rowspan="3">普</td><td rowspan="3">4～6kg</td></tr>
<tr><td>植付後萌芽前（雑草発生前）
全面土壌散布</td></tr>
<tr><td>土寄せ後（雑草発生前但し、収穫 60 日前まで）
全面土壌散布</td></tr>
<tr><td>ロロックス</td><td>植付直後
全面土壌散布</td><td>普</td><td>100～200g
（70～150L）</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>バスタ液剤</td><td>【雑草生育期】 植付前または畦間処理
（収穫30日前まで）</td><td>普</td><td>300～500ml
（100～150L）</td><td rowspan="2">合わせて 3 回以内</td><td rowspan="2">・茎葉にかからないよう散布する。
・枯死には日数を要する。</td></tr>
<tr><td>ザクサ液剤</td><td>【雑草生育期】 植付前または畦間処理
（収穫30日前まで）</td><td>普</td><td>300～500ml
（100～150L）</td></tr>
<tr><td>プリグロックスL</td><td>【畦間処理】　雑草生育期
（収穫前日まで）</td><td>劇</td><td>600～1000ml
（100～150L）</td><td>3 回以内</td><td>・茎葉にかからないよう散布する。</td></tr>
</table>

※農薬ラベルの表示事項（使用方法、注意事項等）を必ず確認し、使用すること！

※使用については必ずご相談下さい。